11/15
赤旗

国と東電は責任を果たせ、と集会に参加した人たち＝13日、福島市

原発ゼロへ100万署名

ふくしま出発集会に1500人

原発再稼働ストップ、福島切り捨て政治の転換を掲げる、「国と東京電力は責任を果たせ！ 11・13ふくしま集会」が13日、福島市で開かれ約1500人が参加しました。ふくしま復興共同センターの主催、原発をなくす全国連絡会の協賛。

↓関連❺⓯面

東京電力福島第1原発事故から5年8カ月、いまだに8万人を超す県民が避難生活を強いられている。福島の現状を県内外に発信し、全国すべての原発の廃炉などを求める100万人署名を軸にした全国的なたたかいのスタート台にしようと、各地から駆けつけた参加者が思いを一つにしました。

斎藤富春代表委員（県労連議長）が「安倍政権は原発再稼働と輸出のために、原発事故は終わったことにしようと強引に進めている。福島の現状を県内外に情報発信することと、全国闘争としての運動強化が求められている」と強調。馬場有（たもつ）浪江町長が「原発事故で日常生活も地域社会も壊された。再稼働はありえません。日本から原発をなくしていきましょう」と訴えました。

日本共産党の岩渕友参院議員が「みなさんのたたかいと結んで全力を挙げる」とあいさつし、野党統一候補として勝利した増子輝彦参院議員のメッセージを民進党の高橋秀樹県議が代読。新潟連絡会の小市信事務局長があいさつ。各界からのメッセージ紹介に続き、県内の運動が交流されました。

親子で参加した笠原郁子さん（59）と、ゆかりさん（34）は「多くの人が集まった。みなさんの発言に胸が詰まる。この気持ちを周りの人に伝えたい」と話しました。